



令和3年度 高知若草特別支援学校 学校経営計画

校訓

明るく
賢く
遅しく

学校教育目標

児童生徒一人一人の個性と障害の状態に応じた適切な教育を通して、何事にも主体的に取り組み、他を思いやる心をもって、積極的に社会に参加し、自分らしい豊かな人生を送ろうとする人間を育成する。

- ・生活に役立つ知識・技能の獲得
- ・新しいことに対応できる思考力・判断力・表現力の育成
- ・ひたむきに学びに向かう力の育成

目指す児童生徒像



目指す学校像

- 児童生徒が自己実現を達成できる学校
- 保護者が成長と発達を実感できる教育を行う学校
- 地域になくはない存在として愛される学校
- 教職員が仕事に誇りを持ち、やりがいを感じる学校

【強み】

- ◆小中高一貫教育
- ◆他職種との協働
- ◆本・分3校の連携
- ◆素直・真面目
- ◆地域・関係機関との連携

大切にしたい3つの基本姿勢

やさしく

ていねいに

しっかりと

【教職員がつけたい力】

- ◇専門性
- ◇学部間協働
- ◇学舎連携
- ◇柔軟な創造力
- ◇エビデンスベース

令和3年度に重点とする主な取組

「カリキュラムマネジメントによる学校全体の構造や取組の改善・充実」

－ 学びをつなぐ学校づくり計画(R2～4) －

I 授業改善から教育課程の改善・充実

○主体的、対話的で深い学びの視点での授業改善とその評価を教育課程の改善につなげます。

- ①系統性のある指導のため、授業検証を行うとともに目標内容詳細票を作成する。
- ②児童生徒の実態に応じた年間指導計画や単元計画案を作成し、学習評価の充実を図る。
- ③授業づくりのPDCAサイクルを徹底し、主対深の視点での授業改善を一層推進する。

II 自立活動の指導の充実

○教科学習を後ろ支えする自立活動の指導内容の充実を図ります。

- ①自立活動の指導内容を明らかにし、より実態に即した指導、支援を行う。
- ②自立活動と教科の指導内容について必要な整理を行う。

III ICT 機器等の充実と活用

○全ての教員が google 協働学習ツール G suite for Education の基本を学び活用できるようにします。

- ①全ての教員の google 協働学習ツールの利用のための基礎的な知識技能の習得を行う。
- ②児童生徒の学習指導や支援に ICT 活用ができる態勢をつくる。

IV 働き方改革

○子どもに向き合う時間、自分自身を高める時間の確保と、一人一人の力が生かせる職場づくりを進めます。

- ①効果的、効率的で計画的な業務により、見通しをもった仕事の仕方につなげるなど教職員の働き方に関する意識改革を行う。
- ②本校・分校で共同・協働してできる業務を検討し、各校の教育活動の交流による質の向上を図るとともに、業務の効率化を図る。